

一般公開シンポジウム
第11回食の安全と安心フォーラム



**新たな機能性表示食品制度
ってどうなの？**
～消費者と食品企業の距離を縮めるために～

2015年7月18日 (Sat)
東京大学農学部 弥生講堂一条ホール

主催: NPO法人食の安全と安心を科学する会 (SFSS)
後援: 東京大学大学院農学生命科学研究科附属 食の安全研究センター
公益財団法人食の安全・安心財団
協賛: キューピー株式会社、キリン株式会社、ライオン株式会社、
味の素株式会社

一般公開シンポジウム

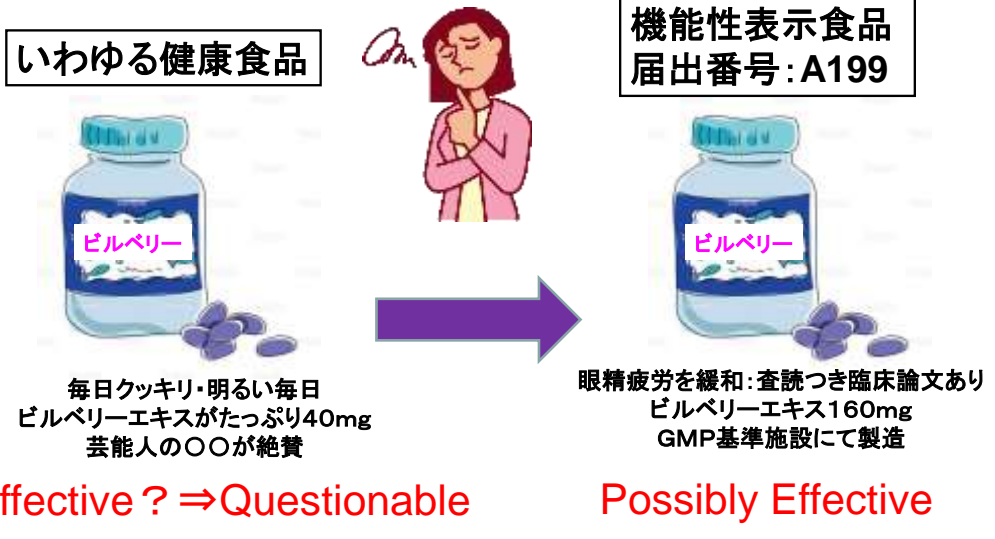
第11回

食の安全と安心フォーラム

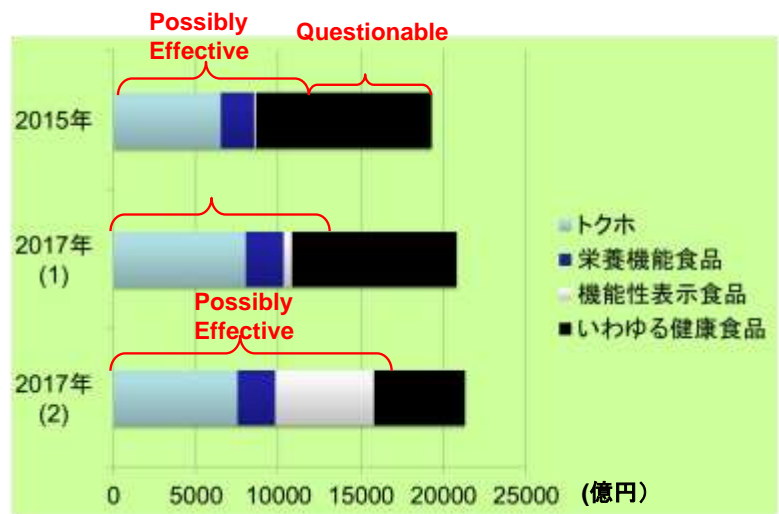
新たな機能性表示食品制度ってどうなの？
～消費者と食品企業の距離を縮めるために～

- 13:00～13:10 プロローグ 山崎 毅 (SFSS 理事長)
13:10～14:00 各演者より背景や考え方をプレゼン
- ・阿南 久 (消費者市民社会をつくる会 理事長、元消費者庁長官)
「機能性表示食品制度創設の意義とより良く育てていくための課題」
 - ・唐木 英明 (食の安全・安心財団 理事長、東京大学名誉教授)
「機能性表示食品をどのように考えるのか？」
 - ・戸部 依子 (NACS 食生活特別委員会 委員長)
「私たちの食生活と機能性表示食品」
 - ・小島 正美 (毎日新聞社 生活報道部編集委員)
健全な「機能性表示食品」は育つか
 - ・関口 洋一 (健康食品産業協議会 会長)
「機能性表示食品制度に関する業界の取り組み」
- 14:00～14:30 コーヒーブレイク(質問票の回収・仕分けをします)
14:30～17:30 パネルディスカッション
コーディネーター: 山崎 毅 (SFSS)、 パネラー: 各演者

いわゆる健康食品が機能性表示食品に格上げするとなぜ医療費抑制になるのか



国内における健康食品(健康訴求食品)の市場規模予測



機能性表示食品の臨床効果はどの程度？



機能性表示食品
届出番号:A199



査読つき臨床論文1報のみ
RCT 眼精疲労緩和
(4週目のみ有意差)

Possibly Effective



要指導医薬品
に格上げすべき？



査読つき臨床論文多数
メタ分析 眼精疲労緩和、白内障に効果
(2週、4週、6週で有意差)
副作用に要注意

Effective ⇒ Efficacy

一般公開シンポジウム

第11回

食の安全と安心フォーラム

新たな機能性表示食品制度ってどうなの？

－消費者と食品企業の距離を縮めるために－

＜シンポジウム協賛企業＞

キューピー株式会社、キリン株式会社、
ライオン株式会社、味の素株式会社

＜SFSS賛助会員＞

株式会社OSGコーポレーション、メロディアン株式会社
株式会社551蓬萊、旭松食品株式会社
キューピー株式会社、株式会社ホワイトマックス
カルビー株式会社